

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」仮申請関係様式

市区町村名

10444川場村

●令和7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

※類型1を選択すると類型2が選べます。

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度に おける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	児童生徒へのアンケートから、児童生徒と地域の人の関わりは、令和6年度は前年比12%増であったが、地域と連携した教育課程の編成については、中学校(今後の7～9学年)年代で進みが思わしくなく、関わりは限定的である。	義務教育学校となり、1年生～9年生を3つのブロックに分けるため、新たに地域と連携した教育課程の再編成を行う。その際、定期会議において地域学校協働活動推進員と協働しながら、アイデアを取り入れていく。	地域連携担当教諭と推進員、教育委員会担当者が年間11回の定期会議を実施しているが、教育課程の編成について総合的な学習時間に終始し、その他の教科についての議題や話題は少なかった。	定期会議で検討され、地域の視点や推進員のアイデア等を取り入れた教育課程の実施により、教職員が各ブロックで育てたい子ども像に迫るための手立てが明確になり、地域と連携・協働することのよさを実感することができる。	年度末アンケートにおいて、「地域と連携・協働するよさを実感した」と答える教職員の割合	0	%	60		